

第48回道本部委員会 職場からの結集を強めてたたかおう

2月18日に第48回道本部委員会を開催し、道本部委員、執行部など21人が出席（このほか道本部委員の委任状15名）して2024年春闘方針などについて満場一致で決定しました。

道本部の森国委員長は「ダンプの仲間の確定申告の時期だが、自民党の裏金問題で税金を払わない議員への怒りが大きい。企業・団体献金を禁止し、政党助成金を廃止することが必要であり、岸田内閣は退陣すべきだ。子育て支援の財源として社会保険料を上乗せするというが、『保険は万一の時のため』だと季節労働者の失業給付を削ってきたことに矛盾する。春闘で大幅賃上げを勝ちとり、管理春闘を打破しよう。そのためにも仲間を増やして大きな運動にしていこう」とあいさつしました。

宮澤書記長が春闘方針を提案し、討論では「組織拡大にとりくむとともに、地域での支部間のつながりを強める必要がある」「学童保育を良くするために要請書を出して交渉をすすめる。パート指導員の賃上げも実現してきたので父母会へも働きかけたい」「方針を具体化するために会議の設定や位置づけについて改善してもらいたい」などの発言がありました。

北海道鉄道本部が春闘要求書提出 賃上げ、職場要求、安全とサービスなど57項目

北海道鉄道本部は2月14日にJR北海道あての「2024年春闘要求書」を提出しました。賃上げ要求は「正規社員の基本給月額30,400円引き上げ」「非正規社員は月額1,900円以上、時間額170円以上の引き上げ、初任給をはじめエルダースタッフの基本給額を大幅に引き上げること」や、諸手当では「燃料価格の高騰をふまえ、自動車等で通勤する社員の通勤手当20%増額」などです。また「50歳以上の賃金改善」とともに「定年退職年齢を65歳にすること」や退職手当の改善についても要求し、職場要求として「年間休日を完全に消化するため、各職場・職種ごとに基本要員、予備率を明らかにすること」など32項目、雇用延長制度及び非正規労働者の処遇改善について5項目、お客様の安全とサービス向上に向けた要求として「トンネル内事故発生時の避難誘導を想定して気動車特急列車は車掌2名乗務にすること」「札幌市の高齢者福祉パスの動向を見据えてモバイル化により増収をはかること」など4項目です。

札幌学童保育支部が要求書提出

札幌学童保育支部は1月22日、公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会あての「職員の賃金・労働条件改善に関する要求書」と「児童会館運営に関する要求書」を提出しました。賃金・労働条件改善については「児童会館・ミニ児童会館の職員不足数を明らかにし、その原因と対策を明らかにすること」「対策の一環としてサポートスタッフ・臨時職員・パートスタッフ等の有期雇用の職種を無期雇用にすること」「非正規職員の時給引上げること」などを要求しています。児童会館の運営については「児童クラブの受け入れ人数が多くなっている小学校区での児童会館の新設」「エアコンの完備」などを求めています。